

T T A K

退院後も つなぎます あなたの ころとからだ

H26年9月
T・TAK発行

1年間ひっそりと静まり返っていた3階病棟が、今年度より、回復期リハビリテーション病棟として生まれ変わりました。

今回は、この回復期リハビリテーション病棟を紹介します。どんな人が入院する病棟？ どんなことをしているのでしょうか。

そこで、地域の皆様にも理解していただけたらと思い、レポートしてきました。



回復期リハビリテーション病棟を紹介します！

◎回復期リハビリテーション病棟ってどんなところ？

なるほど！

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者さまに対し、日常生活能力の向上及び在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

患者さまには、必要なリハビリテーションに意欲をもって取り組んでいただくことが大切です。そのためには家族の支えと協力が必要となります。

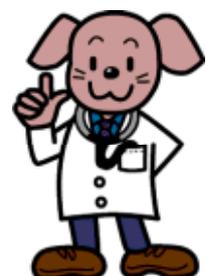


◎どんな人が働いているのかな？

医師をはじめ看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・医療相談員などの専門職がチームを作り、患者さまとともにそれぞれにあったプログラムを作成して実践していきます。

私たちスタッフは、患者さまの状態や家庭環境を踏まえて、目標を共有した上でリハビリテーションを実施していきます。できることを少しずつ増やし、患者さまの希望に沿ったゴールに向けて、真心をこめたお手伝いをさせていただきます

そうなんだ！



◎回復期リハビリテーション病棟の生活風景を紹介します。

入院生活では日常生活のすべての場面をリハビリテーションと捉えます。一つ一つの行動、動作を機能回復につなげていきます。自宅では、朝起きたら、パジャマから服に着替えますね。患者さんも同じように日中は服に着替えて過ごします。

日常生活における動作だけでなく、自分で物事を決めることも大切なリハビリテーションです。ゲームをしたり、みんなで貼り絵などの工作に取り組んでいます。



回復期リハビリテーション病棟での作品集

IHI ペーロンです



← 盆踊り

折り紙手芸 →



← スイカと豚の蚊取り線香



あさがお →



↑ 折り紙でくすだま

◎回復期リハビリテーション病棟が目指すものは？



回復期リハビリテーション病棟を、
よろしくお願ひします。

早期の社会復帰 「バック トウ ザ・コミュニティ」

私たちと一緒にもう一度、ご家庭でのあなたらしい生活を取り戻しましょう

今後も、IHI 播磨病院の各部門・先生・スタッフの紹介をします。

次回のT・TAK新聞もお楽しみに！！

バックナンバーは 病院ホームページ <http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。

by : T・T